

ネットワーク社会と 学校経営

国際大学GLOCOM
豊福晋平

ネットワーク社会と学校経営

- 最新の発表内容は <http://www.i-learn.jp/>
- 情報社会論のインパクト
- 公教育と社会との新しい接点
- 広報からのアプローチ
- 校務からのアプローチ
- 今後の展望

情報社会論の インパクト

ネットワーク社会とはなにか

■ 情報社会論

- 情報化社会(林雄二郎)・情報文明(公文俊平)
- 脱工業社会(ダニエル・ベル)

- 情報技術普及による社会変革を前提
- 情報社会の背景・新しい原理・概念の解明

情報社会論 技術決定論

- × 情報技術が社会を決定する(技術決定論)
背景・伏線としてのコンセプトが重要
- 新しいコンセプトが
創造的破壊(イノベーション)のトリガに

情報化の
歴史的な位置付けと
特徴は？

西欧近代文明の進化局面

1992公文俊平「情報文明論」

情報化(知識市民の協働)
智のゲーム

産業化(企業間の競争)
富のゲーム

軍事化(国家間の戦争)
威のゲーム

現状は
産業化の成熟局面と
情報化の突破局面

先行期 1885 1915 1945 1975 2005 2035

突破期

成熟期

情報技術作用の二面性

ソフトウェア開発手法

「伽藍とバザール」

By エリック・レイモンド

Microsoft
巨大
ソフトウェア産業

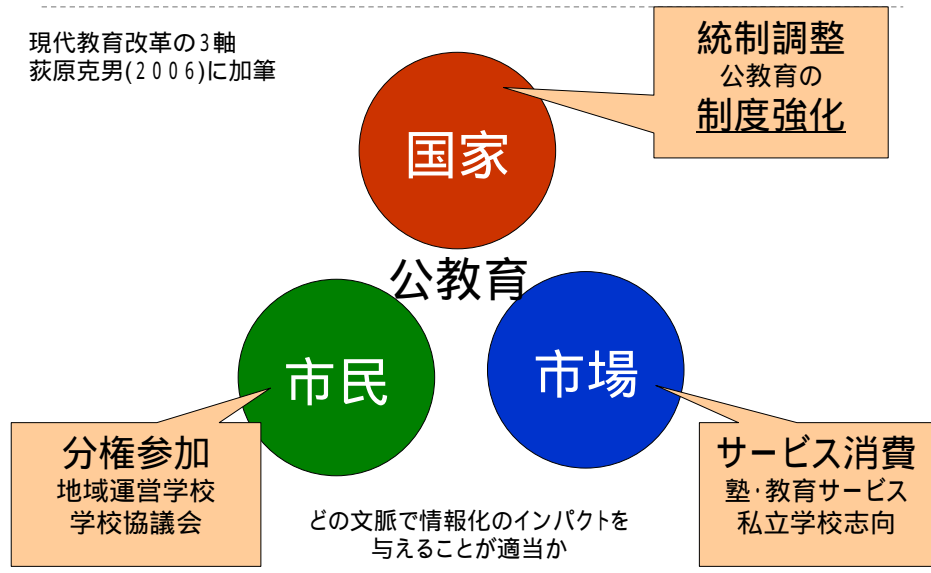
GNU/Linux
オープンソース
コミュニティ

- | | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| ■ 産業社会化(成熟局面) | ■ 情報社会化(突破局面) |
| ■ 合理化・効率化
(インターネット以前) | ■ 共愉(conviviality)・協働
(インターネット以降) |
| ■ 産業化をさらに
促進するもの | ■ 社会変革の
背景となるもの |

Conviviality: 共愉(みんなで一緒にいきいき楽しい)イヴァン・イリイチの用語
古瀬幸広・廣瀬克哉「インターネットが変える世界」(1996年)

公教育への挑戦の3軸

現代教育改革の3軸
荻原克男(2006)に加筆



矮小化プロセスに陥っていないか

過去の教育情報化は...

- | | |
|------------|------------|
| ■ 授業利用 | 適用領域の限定 |
| ■ 教育効果 | 制度体制を前提条件に |
| ■ 研究発表 | 適合性・持続性の無視 |
| ■ 効率化・情報消費 | 情報化文脈の読み誤り |

情報化インパクトを活かすには

日常性
持続性
公益性
突破性

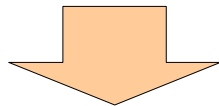
1 まとめ

- 情報社会論 = 情報化と社会変革
- 情報技術2面性 = 産業社会化・情報社会化
- 公教育への挑戦 = 国家・市場・市民
- 情報化の矮小化プロセス
- 情報化インパクトの適用
= 日常性・持続性・公益性・突破性

公教育と社会との 新しい接点

公教育への挑戦課題

- 公教育の自明性(価値・権威・機能)の喪失
- 社会的不信を背景に
公教育の自律性が脅かされる



- 時代の要請に対する立ち位置(社会的価値)
- 公教育の自律的価値向上

学校経営と学校の社会的価値

だれが決めるのか
社会的価値とはなにか
価値をどう強化するか

価値はだれが決めるのか

- 企業の社会的責任(CSR)
- シングル・ステークホルダ(利害関係者)から
マルチ・ステークホルダへ
- 社会との広範な接点とバランス論へ

学校ステークホルダ

- | | | |
|----------|------------------|-------|
| 1. 活動主体 | 文部科学省・教委・管理職・教職員 | } 顕在的 |
| 2. コスト負担 | 自治体・納税者 | |
| 3. 直接受益者 | 児童生徒・保護者 | |
| 4. 外部関係者 | 地域社会・市民 | } 潜在的 |
| 5. 間接関与者 | 卒業生・入学予定者 | |

学校の社会的価値とはなにか

- 社会資本(ファシリティ)の価値
 - 土地・施設・設備に求められる価値
- サービス・制度の価値
 - 学校教育活動で提供されるサービス・認定資格
- 社会関係資本(Social Capital)の価値
- R.D. Putnamによる定義
 - 人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を改善できる、**信頼**、**規範**、**ネットワーク**といった社会組織の特徴

イタリア州政府の制度パフォーマンスの違いと社会関係資本

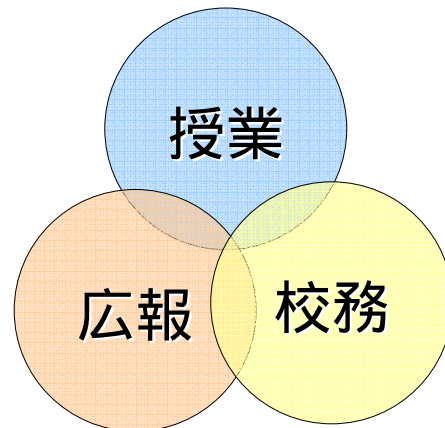
	イタリア北部	イタリア南部
制度パフォーマンス	良好に機能	うまく機能していない
コミュニティ活動	活発	不活発
ネットワーク種類	水平的	垂直的
主要な価値観等	連帯・参加・統合	規制・無力感・疎外感

- R.D. Putnam (1993) Making Democracy Work
邦題: 哲学する民主主義

社会関係資本の充実が課題

- 各学校の社会的価値を上げ下げするのは「サービス」以上に「社会関係資本」
- 学校が地域社会から信頼を得ること
- 市民がコミュニティのルール(規範)を受容すること
- 学校を核としたネットワークが活かされること

教育に活かす情報化3つの接点



情報化3つのシナリオ

- 効率化
 - 省力化による業務改善
 - e-Learning(いつでもどこでも学習)
- オープン性と分散協調
 - Linux/オープンソースコミュニティ
 - アカウンタビリティ・地方分権・学校自律性
- 集約統合
 - Google + Amazon
 - ? 企業資源計画 (ERP:Enterprise Resource Planning)

2 まとめ

- 公教育の自律性確保と社会的価値の向上
- 学校ステークホルダ
- 社会関係資本
- 3つの情報化接点
(授業・広報・校務)
- 3つの情報化シナリオ
(効率化・分散協調・集約統合)

学校に誇りと自信を
取り戻すためのアプローチ

広報からの アプローチ

学校に対する社会認識は

■ 社会人は学校をどう見ているか？

何をやっているのか分からない
不祥事・事件・不良教員ばかり
ゆとり教育で子供をダメにした
文科省のいいなり
多忙で混乱している
まともに教育できないんじゃ...

信用できない
子供を安心して預けられない

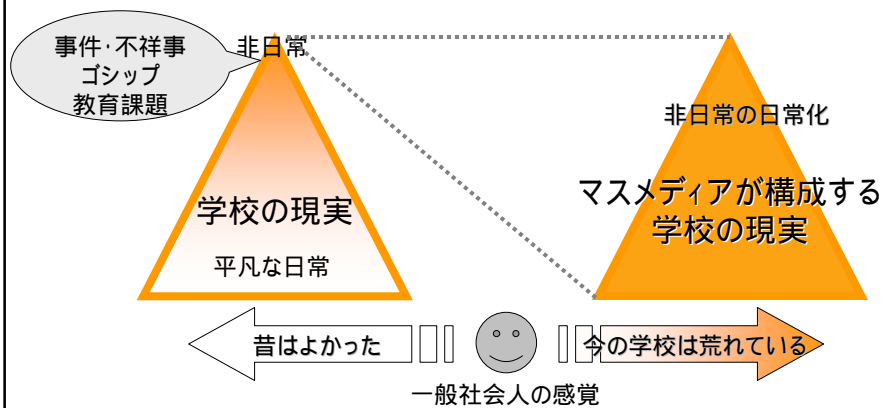
学校は...



経験よりメディアの情報が優勢だと
メディアが現実を構成する
学校の現実も
メディアが構成している

学校不信の一因はマスメディア

■ 非日常事象の最大化・単純化・ラベリング



学校は被害者？

情報提供しない学校も問題
ただ、巨大なマスメディアに
対抗できるのか？

マスメディアの特性

- 大衆の興味喚起が目的
- 非日常が重要(賞賛・事件・ゴシップ)
- インパクト・偶像化・ラベリング

学校広報の場合

- 学校に興味関心のある人
- ありきたりの学校の日常が重要
- 学校の臨場感・安心・信頼

ステークホルダが欲しいのは
「**地味でベタな情報**」

学校サイトの特性

- 学校自身が編集発信 (**分権**)
- コストをかけず (**効率**)
- 誰でも閲覧できる (**オープン**)

- 学校サイトは学校日常そのもの(と仮定する)
- ステークホルダと現場とを直接つなく
= 教育ガバナンスの転換点

地味でベタな情報 # 1

🔔 卒業へのカウントダウン☆2007 🔔

2月20日
卒業まであと
20

今日は須玉中学校の入学説明会が行われました。



▲卒業アルバム原稿を作っています。



▲中学校内を案内してもらいました。

2月21日
卒業まであと
19

今日は児童総会が行われ、児童会長として最後のあいさつをしました。



▲児童会長として最後のあいさつ。



▲この一年間の集大成は5つの星になりました。

北杜市立増富小学校

地味でベタな情報 # 2

■ 出欠状況

日	16	19	20	21	22
曜日	金	月	火	水	木
欠席者	56	31	18	24	16
欠席率	8.4	4.7	2.7	3.6	2.4
かぜの症状の子	73	57	42	45	31
スマイルさん	4	-	-	-	-
安心おじさん	2	3	2	2	-
たまご先生	1	1	3	2	2

高浜市立翼小学校

■ こども日記

☀️ 晴れ

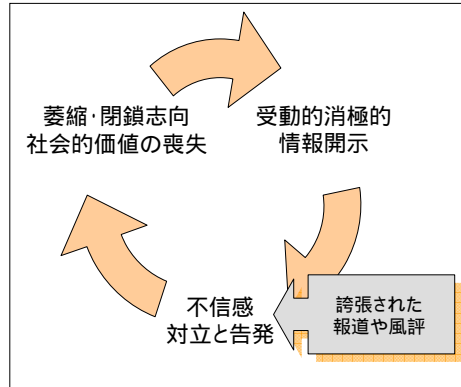
2月21日(水)
今日(きょう)は算数(さんすう)と社会(しゃかい)の学力(がくりょく)テストがあったよ。みんな「自信(しんじん)ないよ～」と言(い)っていたよ。1時間(じかん)目(め)に算数(さんすう)の復習(ふくしゅう)もやったよ。算数(さんすう)の学力(がくりょく)テストが終(お)わると、みんな「やったおわった！」と言(い)っていたよ。社会(しゃかい)の学力(がくりょく)テストの前(まえ)でも、みんなしんげんに教科書(ぎょうかしょ)をよんでいて、復習(ふくしゅう)をしていたよ。100点(てん)がとれるといいな。




印西市立大森小学校

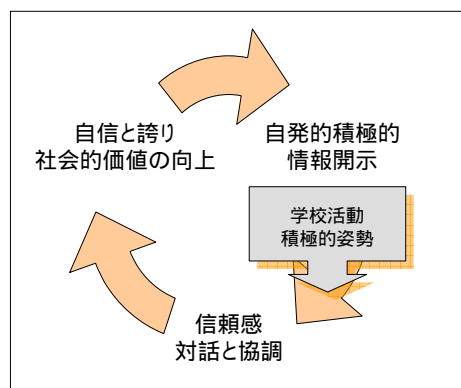
2つの情報開示ループモデル 情報開示のネガティブ・ループ

- 消極的情報開示姿勢
- 学校の現実
事件・不祥事報道や噂
が優位
- 学校不信や対立を強化
- 批判告発に対して、学
校は萎縮し閉鎖的態度
を強める



2つの情報開示ループモデル 情報開示のポジティブ・ループ

- 積極的情報開示姿勢
- 学校の現実
学校サイトが優位
- 学校に対する信頼感や
協調姿勢を強化
- 外部との円滑な関係に
よって、学校は自信と
誇りを強める。



学校サイトは学校活動の集大成

- 素朴でもかまわない
 - 日々利用するもの
 - 常に動きがわかるもの
 - 多くの人に関わるもの
 - 多くの人が恩恵を受けるもの
...でなければならない
- 重要なのは...
- 内容的バランス
 - 管理職の関与
 - 組織的体制
 - 児童生徒の編集参画
- つまり、それは
学校の総合力そのもの

学校サイトを通じた学校評価

- 学校サイトは学校日常である(とすれば)
 - サイト評価は学校経営・学校活動全体の評価
 - 広範な学校ステークホルダの評価を認識させる機会
- ただし、評価の妥当性確保が課題
 - 総合的・客観的・トレサブル
- 外部からの客観的評価(分権 + 情報集約)
 - 量的評価(i-learn.jpサイト更新率)
 - 質的評価(J-KIDS大賞)

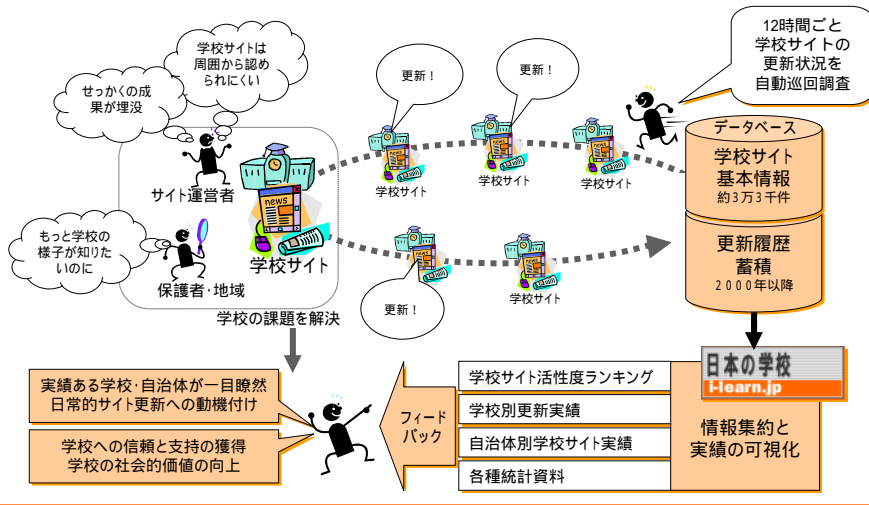
i-learn.jp 日本の学校

■ 1995年開設



i-learn.jp 日本の学校

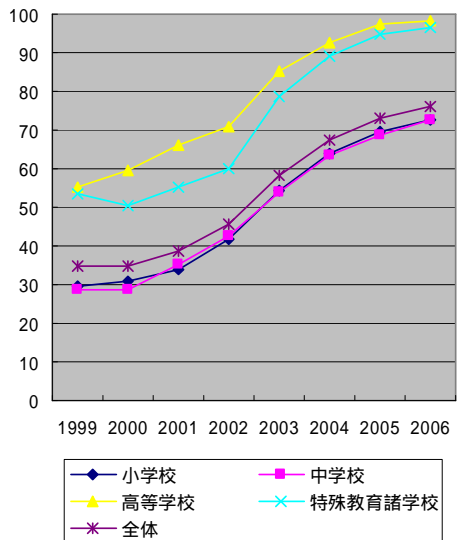
目的 利用者の立場からの学校広報促進
 概要 学校側のサイト運営実績の集約と可視化・埋もれがちな学校成果の発掘
 効果 学校サイト運営者・利用者に対するフィードバック・サイト活性化向上



学校サイト設置率

- 2006年のHP設置率は公立全体で76% (文部科学省調べ)
- 増加は鈍化傾向

図3・公立学校ホームページ開設率



一覧表へのフィードバック

- 学校サイト活性度 = 過去90日間の更新日数

週5日
以上更新

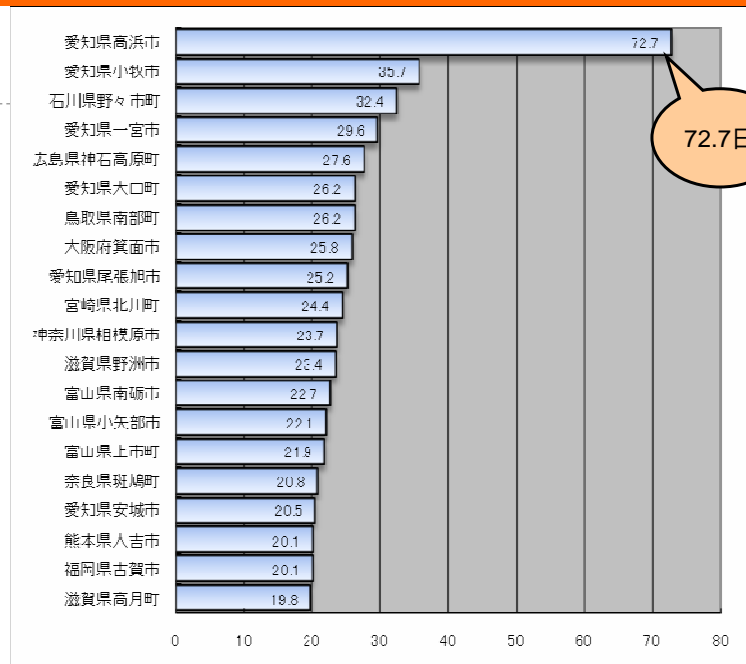
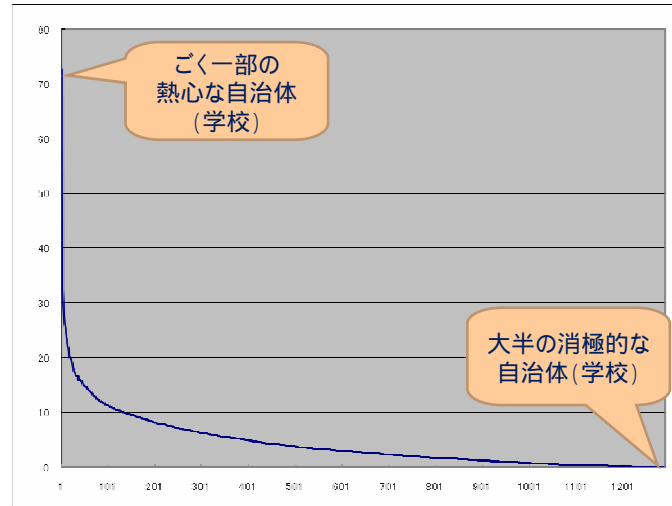
7日以内
更新無

90日間
更新率

埼玉県	さいたま市立けいこ小学校***[050401さいたま市]	54%更新
埼玉県	さいたま市立新ヶ谷小学校**[050401さいたま市]	43%更新
埼玉県	さいたま市立大谷場東小学校***[050401さいたま市]	59%更新
埼玉県	さいたま市立北浦和小学校**[050401さいたま市]	23%更新
埼玉県	さいたま市立仲町小学校**[050401さいたま市]	33%更新
埼玉県	さいたま市立植竹小学校**[050401さいたま市]	43%更新
埼玉県	さいたま市立大成小学校**[050401さいたま市]	4%更新
埼玉県	さいたま市立三橋小学校**[050401さいたま市]	24%更新
埼玉県	さいたま市立栄和小学校**[050401さいたま市]	
埼玉県	さいたま市立鈴谷小学校**[050401さいたま市]	
埼玉県	さいたま市立中島小学校**[050401さいたま市]	
埼玉県	さいたま市立谷田小学校**[050401さいたま市]	
埼玉県	さいたま市立谷田小学校を紹介するホームページです	
埼玉県	さいたま市立大砂土東小学校**[050401さいたま市]	3%更新
埼玉県	埼玉県立大砂土東小学校のホームページです☆	
埼玉県	さいたま市立仲本小学校**[050401さいたま市]	7%更新
埼玉県	さいたま市立仲本小学校のホームページです。子どもたちの活動がよくわかります。	
埼玉県	さいたま市立柏崎小学校**[050401さいたま市]	2%更新
埼玉県	さいたま市立上木崎小学校**[050401さいたま市]	4%更新
埼玉県	さいたま市立新和小学校**[050401さいたま市]	7%更新
埼玉県	さいたま市立桜木小学校**[050401さいたま市]	6%更新

情報発信のべき法則(パレート法則)

- 3校以上の自治体1736対象



学校サイト活性化評価(未公開)

文部科学省(例年8月発表)情報化調査

i-learn.jp
HP設置率 + HP活性化度

設置者	学校数	BB接続	PC1台の学生数	教室LAN	学校HP	HP活性化度	合併
(都道府県立)	260	249 95.8% C	6.4 C	13.7% E	269 103.5% A	6.7 B*	
千代田区	11	11 100% A	8.3 D	97.7% A	10 90.9% B	4 C	
中央区	20	19 95% C	8 D	96.5% A	20 100% A	4.6 C	
港区	29	27 93.1% C	4.6 B	90% B	30 103.4% A	8.8 A*	
新宿区	42	40 95.2% C	9.3 D	5.8% E	45 107.1% A	5.1 C*	
文京区	31	30 96.8% C	10 D	1% E	31 100% A	7.9 B	
台東区	27	24 88.9% D	7 C	27.2% C	27 100% A	14.3 A	
墨田区	39	39 100% A	10.5 E	9.2% E	40 102.6% A	7.8 B*	
江東区	65	63 96.9% C	11.6 E	10.3% E	65 100% A	7.5 B	
品川区	58	56 96.6% C	8.4 D	41.8% C	59 101.7% A	12.9 A*	

自治体学校実績一覧

学校名称	回数	自治体内 順位/校数	都道府県内 順位/校数	は更新 された日
▶ 高浜市教育委員会	00 --- /001 --- /0008			
▶ 高浜市立高浜小学校	31 001/005 0001/0888			
▶ 高浜市立真小学校	23 003/005 0012/0888			
▶ 高浜市立港小学校	16 005/005 0061/0888			
▶ 高浜市立吉浜小学校	19 004/005 0022/0888			
▶ 高浜市立高取小学校	31 001/005 0001/0888			
▶ 高浜市立南中学校	20 002/002 0010/0372			
▶ 高浜市立高浜中学校	31 001/002 0001/0372			

J-KIDS大賞2006

- <http://www.j-kids.org/>
- 選考委員長 村井純教授 (慶応大学)
- 全国小学校(特殊教育・在外日本人学校含む)
約17000校を対象
- 事務局: 損保ジャパン
- 協賛:
NTTデータ・マイクロソフト
ほか計17社



J-KIDS大賞の特徴

- 応募不要・予告なし**勝手選考**
- **オープン客観評定法**
 - 1000名強のボランティア参加
 - 構造化された客観指標(資料参照)
- 選考過程(指標・分布傾向)の開示
- 毎年全国約500校を表彰

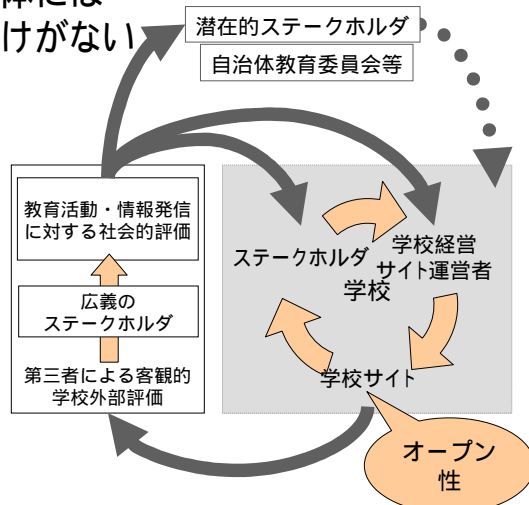
J-KIDS大賞2006

- 熊本県人吉市立
中原小学校



学校ステークホルダと価値循環

- 学校・教育委員会自体には
評価循環させる仕掛けがない
- 第三者による
触媒的的外部評価と
価値の可視化



3 まとめ

- 学校広報 + 情報化
- 学校不信とマスメディア
- 学校広報は「地味でベタな情報」(日常性・継続性)
- 学校サイトのオープン性(公益性)
- 第三者の触媒的外部評価と価値の可視化
- 教育ガバナンスの転換(突破性)

校務からの
アプローチ

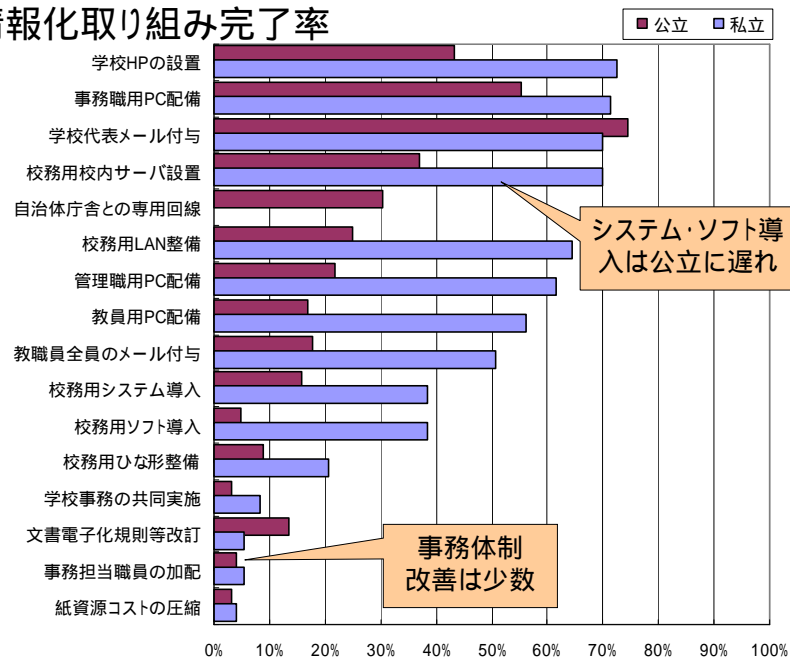
校務情報化の課題

- 2006年1月「IT新改革戦略」
2010年度まで
全公立小中高等学校**教員**に対し
コンピューター人一台整備と校務IT化促進
- 情報化対応遅れの弊害
 - 教職員の多忙化・ITスキル不足
 - 情報漏洩やウイルス感染等
- 校務情報化研究の不足

校務情報化に関する調査

- 実施団体
 - 財団法人社会経済生産性本部
情報化推進国民会議
- アンケート調査
 - 全国市区自治体教育委員会事務局(05年12月)
 - 東京地区私立中学高等学校対象(06年3月)
- ヒアリング調査
 - 大阪府・倉敷市・小牧市・上越市・渋谷区
 - 兵庫県立大清原教授 ほか

校務情報化取り組み完了率



アンケート結果

- 学校教職員の校務負担感は大
- サービス・ソフトウェア・システム等の整備遅れ
- 業務・意思決定プロセス・情報共有の課題

記述回答から

- 手書き文書が義務付けられている。
- 県や国からの調査依頼や通知文書、配布物が多すぎる。
- 電子媒体での調査を中心に、回答期限までの期間が非常に短くなっているものもあり、大変である。
- 時には、メール、FAX、紙と3種類の方法で文書が来ることがあり、無駄が多い。

アンケート結果

- 学校教職員の校務負担感は大
- サービス・ソフトウェア・システム等の整備遅れ
- 業務・意思決定プロセス・情報共有の課題
- 中途半端な対応と冗長・無駄・非効率
- 条例や規制等の縛り
- 財政難と自治体間格差

ヒアリング結果 # 1

- 教員PC導入規模は、庁舎規模の2倍以上、
教委の単独事業は困難
 - 政策企画・情報システム・教育総務・教育指導各
部局間の連携・人事交流が重要

- 校務情報化の総合的プラン、
求められる価値、評価方法が明確でない

ヒアリング結果 # 2

- 事例ごとの偏りが著しい
 - 総務・財務・教務系(一般に財務系が先行)
 - 学校経営的視点が不足
 - 個別領域でミニ情報化

ヒアリング結果 # 3

- 市町村立学校での職務管轄ねじれ
 - 任命権・給与・旅費は都道府県
職務は市町村
 - 事務系統は別々、相互連携も不十分
 - 教育委員会事務局も含めた総合的検討が必要

ヒアリング結果 # 4

- 無理なシステム化が、
現場レベルのLifeHack(工夫や仕組み)を
抑制する
 - 現場レベルの取り組みが必須
 - 丁寧に行わないと、効率化や問題解決に
寄与しない可能性

校務情報化の3目的

- 校務関連業務の**効率化**
 - 省力化合理化
 - 業務プロセス改善(BPR)
- **外部透明性の確保**
 - アカウンタビリティと信頼の獲得
- **情報集約・統合**
 - 知識の集積・共有
 - システム化・内部統制・評価

校務 + 情報化

すでにPCを配れば済む
という話ではない

- 文書電子化(OA化)
- 知識共有・蓄積(グループウェア)
- 校務処理システム
- 学校広報との連携
- 業務プロセス・学校経営改善

4 まとめ

- 学校校務 + 情報化
- 2010年までに教員PC1人1台整備
- 校務全般の課題解決の機会
- 校務情報化目的
(効率化・外部透明性・情報集約統合)

今後の展望

ふたたび情報社会論

- 情報化が教育に与えるインパクト
 - 合理化・効率化 VS 共愉化・協働化
 - 教育ガバナンスの転換 ~ 参加と協働
 - 教育の社会的意義の問い直し
 - 新しいアイデアは続々

学校経営 + 情報化

- 議論ははじまったばかり
- 経営に組み込まれる新しい要素
 - 校長決裁権の拡大
 - アカウンタビリティと情報開示
 - 外部評価・・・
- 知識共有・情報集約統合へのアイデアが必要

変化の時代にこそ
学校の自律性と確固たる姿勢を
学校経営ブレインとしての
学校事務職員像

ご清聴ありがとうございました